

## 「なごみ流」介護の質の高め方

～「誤嚥性肺炎を繰り返さない」という誓いからの出発～

社会福祉法人和光会 地域密着型介護老人福祉施設なごみ  
管理栄養士 内野 直子 介護教育主任 徳田 啓子

## はじめに

○平成21年の開設から、決して少なくなかった誤嚥性肺炎による入院。「誤嚥性肺炎を繰り返さない」ために、私たちに何ができるのか。何をしたら良いのか。介護・医療のエビデンスに基づいて、全職種が連携して実践を積み重ねてきた、約3年間の記録です。

## 取組の概要

- 毎日の口腔ケアの徹底
- 食塊形成に着目した嚥下調整食
- 摂食嚥下、吸引技術の習得
- 観察眼の育成と「つながる」記録
- ご本人やご家族の思いとのすり合わせ
- 医療とのすみやかな連携
- 多様な人材の活用と育成

## 毎日の口腔ケアの徹底

- 歯科衛生士 森さんによる指導（4回/月）



- 口腔管理維持機能実施記録

氏名	性別	年齢	病名	口腔ケア実施状況	口腔管理維持機能実施状況
山田 太郎	男	75	認知症	毎日実施	毎日実施
田中 花子	女	82	認知症	毎日実施	毎日実施
佐藤 一郎	男	78	認知症	毎日実施	毎日実施
鈴木 美子	女	80	認知症	毎日実施	毎日実施
高橋 健一	男	76	認知症	毎日実施	毎日実施
中村 由美	女	81	認知症	毎日実施	毎日実施
渡辺 隆夫	男	79	認知症	毎日実施	毎日実施
小林 真理	女	83	認知症	毎日実施	毎日実施
加藤 大輔	男	77	認知症	毎日実施	毎日実施
山本 恵子	女	84	認知症	毎日実施	毎日実施

## 毎日の口腔ケアの徹底

- 口腔ケア風景



- ある利用者の実施実績

氏名	性別	年齢	病名	口腔ケア実施状況
山田 太郎	男	75	認知症	毎日実施
田中 花子	女	82	認知症	毎日実施
佐藤 一郎	男	78	認知症	毎日実施
鈴木 美子	女	80	認知症	毎日実施
高橋 健一	男	76	認知症	毎日実施
中村 由美	女	81	認知症	毎日実施
渡辺 隆夫	男	79	認知症	毎日実施
小林 真理	女	83	認知症	毎日実施
加藤 大輔	男	77	認知症	毎日実施
山本 恵子	女	84	認知症	毎日実施

## 食塊形成に着目した嚥下調整食

- 食事形態等一覧表

食事形態	性状	性状	性状	性状	性状
流食	粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果
粥	軟飯	硬飯	生野菜	生肉	生果

- 調理風景



A close-up photograph of a white plate with a chocolate cake slice. The cake is garnished with a dollop of white cream and a fresh strawberry. A silver fork is placed next to the cake. The background is a wooden surface.

- 嚥下機能に応じた適性なトロミの追求

[illegible]

- ### ○ 吸引は必須技術



- 個人の一週間の変化が見える総合記録シート  
(個人) の活用

[illegible]

- 看取り介護  
の同意書

[illegible]

- 「きょうは、ごちそうだね」



## 医療とのすみやかな連携



### ○ 嘱託医 前嶋先生との連携

年度	件数	日数	医師	看護師	介護士
21	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
22	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
23	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
24	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
25	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
26	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
27	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
28	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇
29	1	1	前嶋先生	〇〇〇	〇〇〇

### ○ 医師不在時対応マニュアル

医師不在時の対応  
 医師に連絡し、指示を受けること  
 緊急時には、看護師、介護士、栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、心理士、ケアマネジャー、ボランティア等、関係者全員で対応すること  
 医師に連絡し、指示を受けること  
 緊急時には、看護師、介護士、栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、心理士、ケアマネジャー、ボランティア等、関係者全員で対応すること  
 医師に連絡し、指示を受けること  
 緊急時には、看護師、介護士、栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、心理士、ケアマネジャー、ボランティア等、関係者全員で対応すること

## 多様な人材の活用と育成

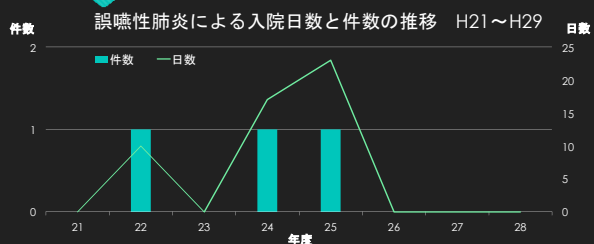


### ○ 短時間職員、学生アルバイトの育成

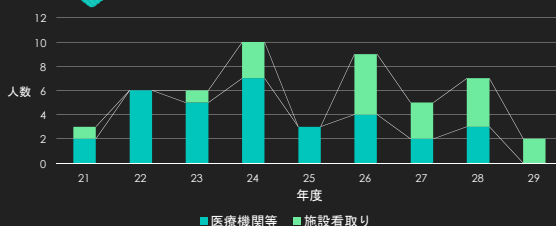


スタッフ	勤務時間	人数
食事介助パート	7:00～9:00 17:00～19:00	1
学生アルバイト	17:00～19:00	1
血洗いボランティア	12:00～13:00	1
事務所職員応援団	17:00～18:00	5

## 活動の成果と評価



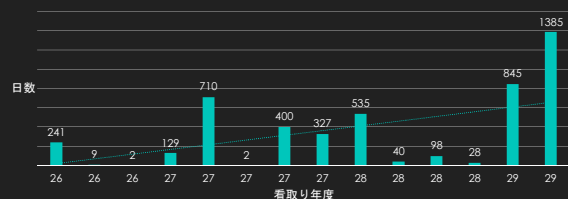
## 看取り場所と人数の推移



## 「看取り介護」の継続期間の推移



### ○ 「口から、食べられるものを、食べたい時に、食べられるだけ」の追求



## 活動の成果と評価



平均介護度3.6、入居者の28%（8名）が「看取り介護」の状況の中

- ① 誤嚥性肺炎の発症がない
- ② 「永くおだやかな看取り介護」「その人らしい暮らしの継続」を実現している

エビデンスに基づいて日々介護を実践している「チームなごみ」の成果とは言えないでしょうか。

## 今後の課題



- たゆまぬ学習
- エビデンスに基づく実践の継続
- そして次世代への継承

○ 次世代の育成と成長  
「サブリーダー会議」の様子

